



阿達くんの日記 7月号

7月になりました。魚沼は梅雨時期になります。じめじめ、むしむしと過ごしにくい日々が続きます。ここをのりきるとスカッと夏到来です。夏休みに入ると気温がどんどん上がり、これまた過ごしにくい季節とを感じる事でしょう。どっちみち何かと都合をつける自分です。この前深夜にこんなテレビがありました。「鯨と一緒に暮らす村」です。外国の村ですが、そこは海があり漁で自給自足をしています。鯨をとるために漁師がいかだみたいな船で海に出ます。狙うはマッコウクジラです。体長15メートルくらいの最大の哺乳類です。そのクジラめがけて、長い槍で舟から一人がダイブして、射止める原始的な漁です。はじめて見た時は唖然としました。「人間がかなうわけない」と思っていました。ですが人間は勝つんです。そんな光景を見ると暑い、寒いなどたいしたことではないと感じました。

今年は3年前のマイマイ蛾に匹敵する、蛾の当たり年になりました。自分を含め、皆様も頭を悩ませていることでしょう。これまた自然のサイクルです。新潟日報に蛾の記事が載っていました。(別紙参照)オビカレハという名前らしいです。皆さんも覚えておくと、会話の中で「蛾・蛾」言わずにオビカレハといった方がなんだか聞こえが良いと思いませんか？その為、**お客様にお願いします。夜はお部屋の戸を閉めておいてください。網戸でも小さな虫が入ってきます。エアコンで温度調節をお願いいたします。**

6月も体験がありました。「ローカル列車只見線からの新緑を楽しもうとトレッキング」です。只見町のトレッキングは魚沼とまた違う魅力があります。ユネスコ世界遺産登録している場所だけに、大自然というにふさわしい町です。自販機、コンビニは、ほぼありません。参加者と沢トレッキングしてきました。

